

# 第16回

# 「グリーン物流パートナーシップ会議」

# アンケート調査結果

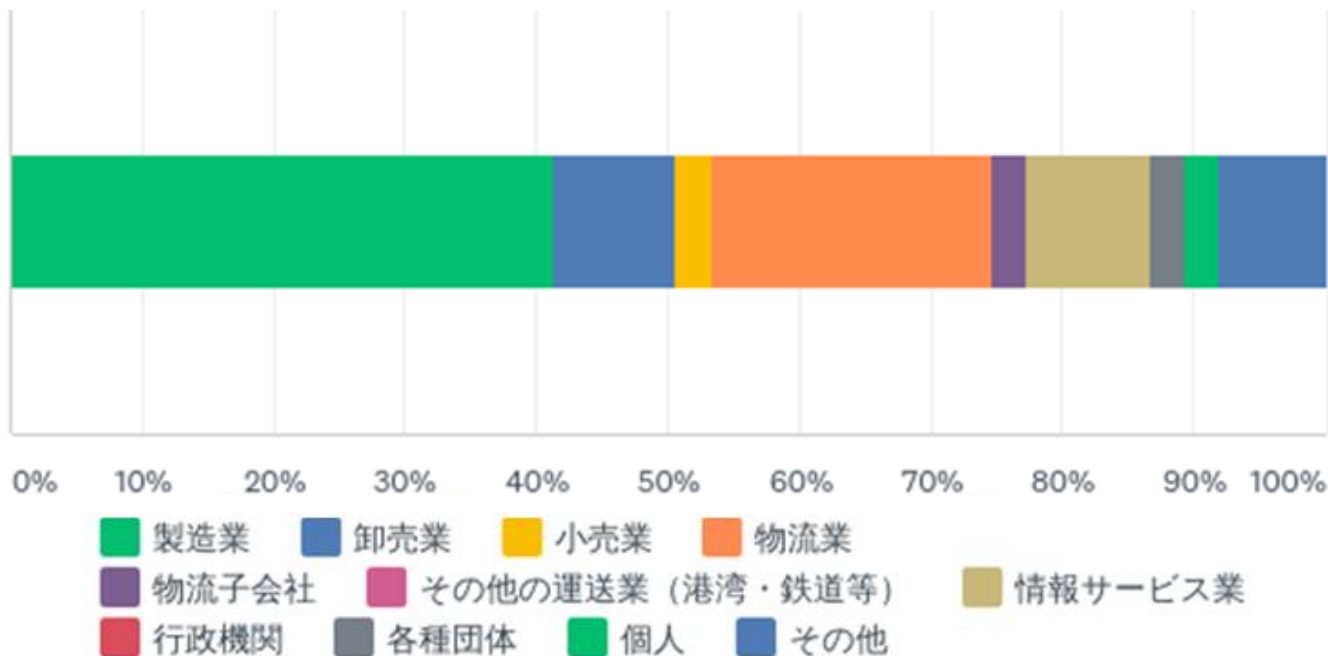


みんなで地球にやさしい物流を

グリーン物流パートナーシップ<sup>®</sup>

Q1: あなたが所属する業種区分は、次のうち、どれになりますか。複数に該当するときは、代表的なもの1つを選択してください。

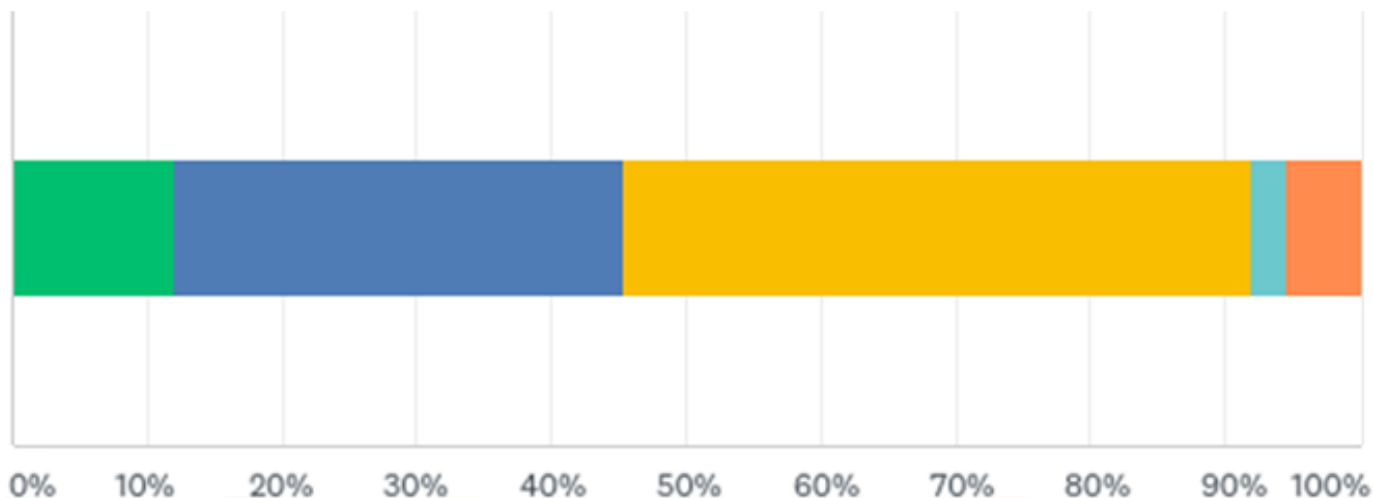
回答数：75



回答の選択肢	回答数	割合
製造業	31	41.33%
卸売業	7	9.33%
小売業	2	2.67%
物流業	16	21.33%
物流子会社	2	2.67%
その他の運送業 (港湾・鉄道等)	0	0.00%
情報サービス業	7	9.33%
行政機関	0	0.00%
各種団体	2	2.67%
個人	2	2.67%
その他	6	8.00%
合計	75	

## Q2: 本日の会議を何から知りましたか。次のなかから、選択してください。

回答数：75

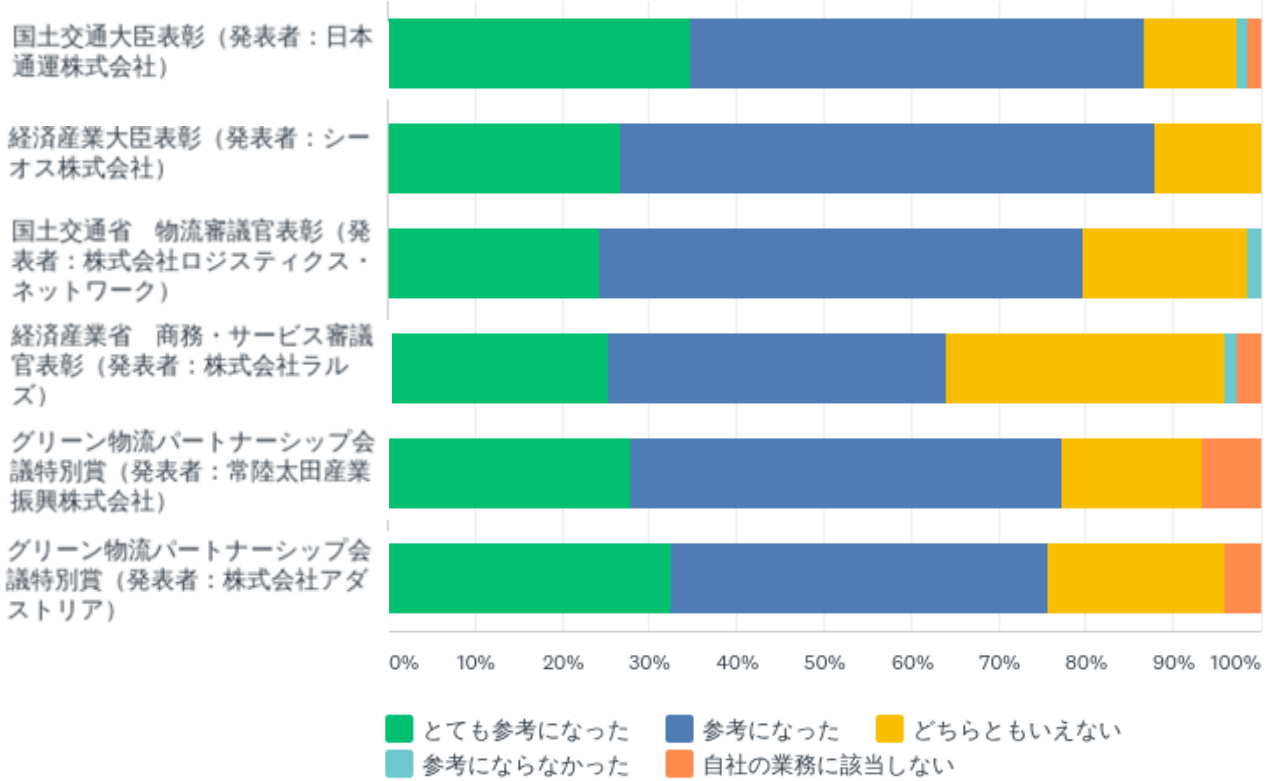


- 受賞者・受賞関係者
- グリーン物流パートナーシップ会議のホームページ、メールマガジン
- 主催団体（国交省、経産省、物流連、日本ロジスティクスシステム協会）のホームページ、メールマガジン等
- 新聞、雑誌等
- その他

回答の選択肢	回答数
受賞者・受賞関係者	9 12.00%
グリーン物流パートナーシップ会議のホームページ、メールマガジン	25 33.33%
主催団体（国交省、経産省、物流連、日本ロジスティクスシステム協会）のホームページ、メールマガジン等	35 46.67%
新聞、雑誌等	2 2.67%
その他（具体的にご記載ください）	4 5.33%
合計	75

# Q3: 本日の会議に関して、感想をお聞かせください。

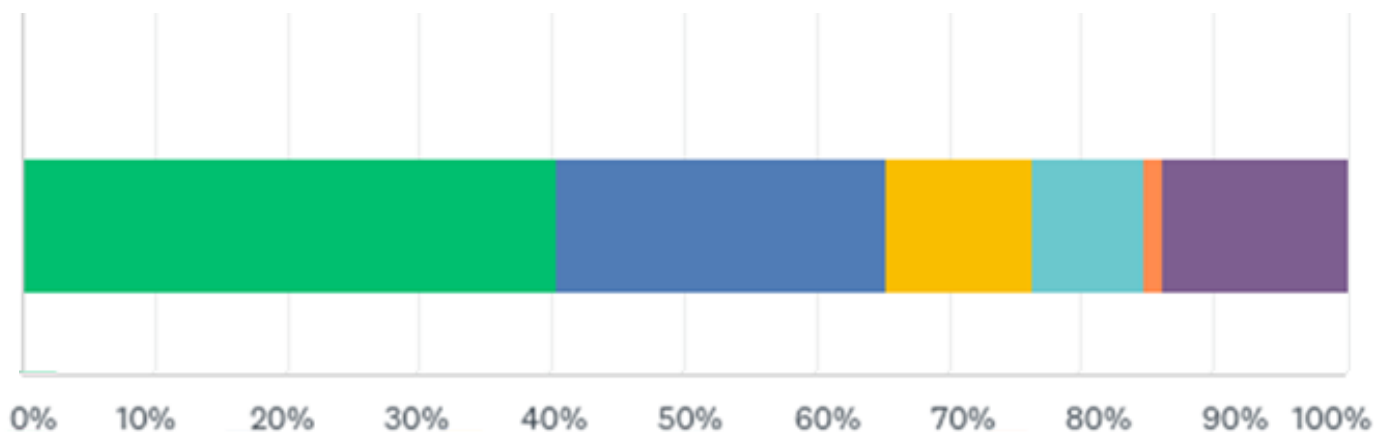
回答数：75



	とても参考になった	参考になった	どちらともいえない	参考にならなかった	自社の業務に該当しない	合計
国土交通大臣表彰 (発表者: 日本通運株式会社)	34.67% 26	52.00% 39	10.67% 8	1.33% 1	1.33% 1	75
経済産業大臣表彰 (発表者: シーオス株式会社)	26.67% 20	61.33% 46	12.00% 9	0.00% 0	0.00% 0	75
国土交通省 物流審議官表彰 (発表者: 株式会社ロジスティクス・ネットワーク)	24.32% 18	55.41% 41	18.92% 14	1.35% 1	0.00% 0	74
経済産業省 商務・サービス審議官表彰 (発表者: 株式会社ラルズ)	25.33% 19	38.67% 29	32.00% 24	1.33% 1	2.67% 2	75
グリーン物流パートナーシップ会議特別賞 (発表者: 常陸太田産業振興株式会社)	28.00% 21	49.33% 37	16.00% 12	0.00% 0	6.67% 5	75
グリーン物流パートナーシップ会議特別賞 (発表者: 株式会社アダストリア)	32.43% 24	43.24% 32	20.27% 15	0.00% 0	4.05% 3	74

Q5: 政府は、地球温暖化対策の推進に関する法律(温暖化対策推進法)を一部改正し、2015年7月に、温室効果ガスを2030年度に2013年度比で日本全体で26%削減(営業用貨物自動車では1,000万t-CO2に相当)するとの目標を柱とする草案を国連に提出していますが、今後、貴社はグリーン物流を推進することで、CO2の削減に貢献できると思いますか。

回答数： 72

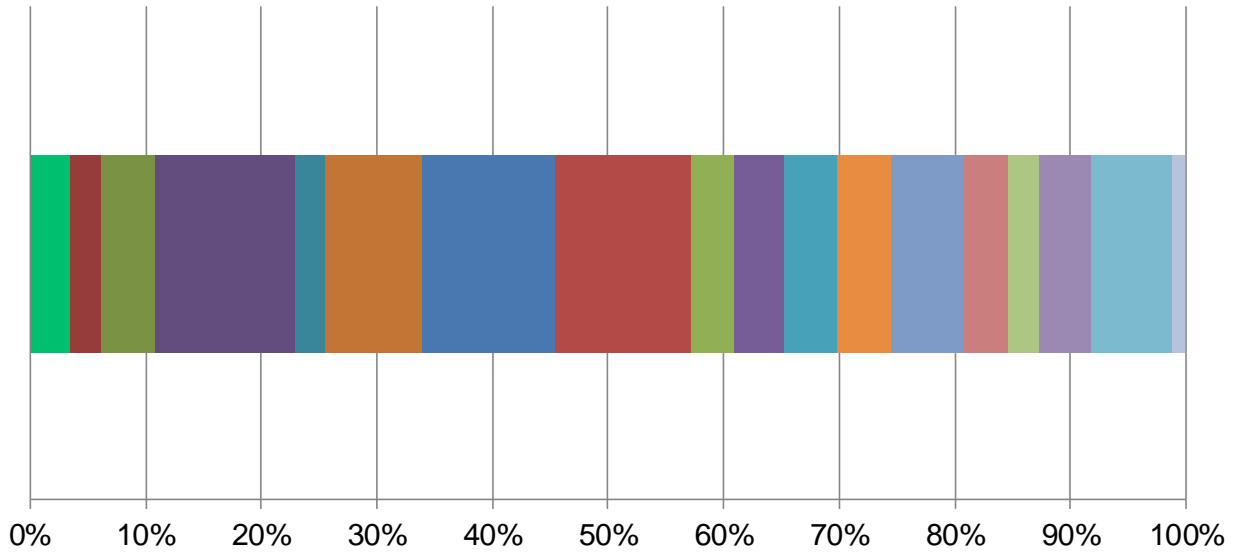


- 現在取り組んでおり、貢献できると思う
- 現在取り組んでいるが、手詰まり感がある
- これから取り組む予定であり、貢献できると思う
- これから取り組む予定であるが、うまく進まないかもしれない
- 現在もこれからも取り組むことはない
- わからない

回答の選択肢	割合	回答数
現在取り組んでおり、貢献できると思う	40.28%	29
現在取り組んでいるが、手詰まり感がある	25.00%	18
これから取り組む予定であり、貢献できると思う	11.11%	8
これから取り組む予定であるが、うまく進まないかもしれない	8.33%	6
現在もこれからも取り組むことはない	1.39%	1
わからない	13.89%	10
合計		72

Q6: 本会議に参加されて、今後、どのようなテーマでのグリーン物流、並びに、物流の生産性向上に取り組みたいとお考えですか。次のなかから、選択してください（複数回答可）。

回答数：73



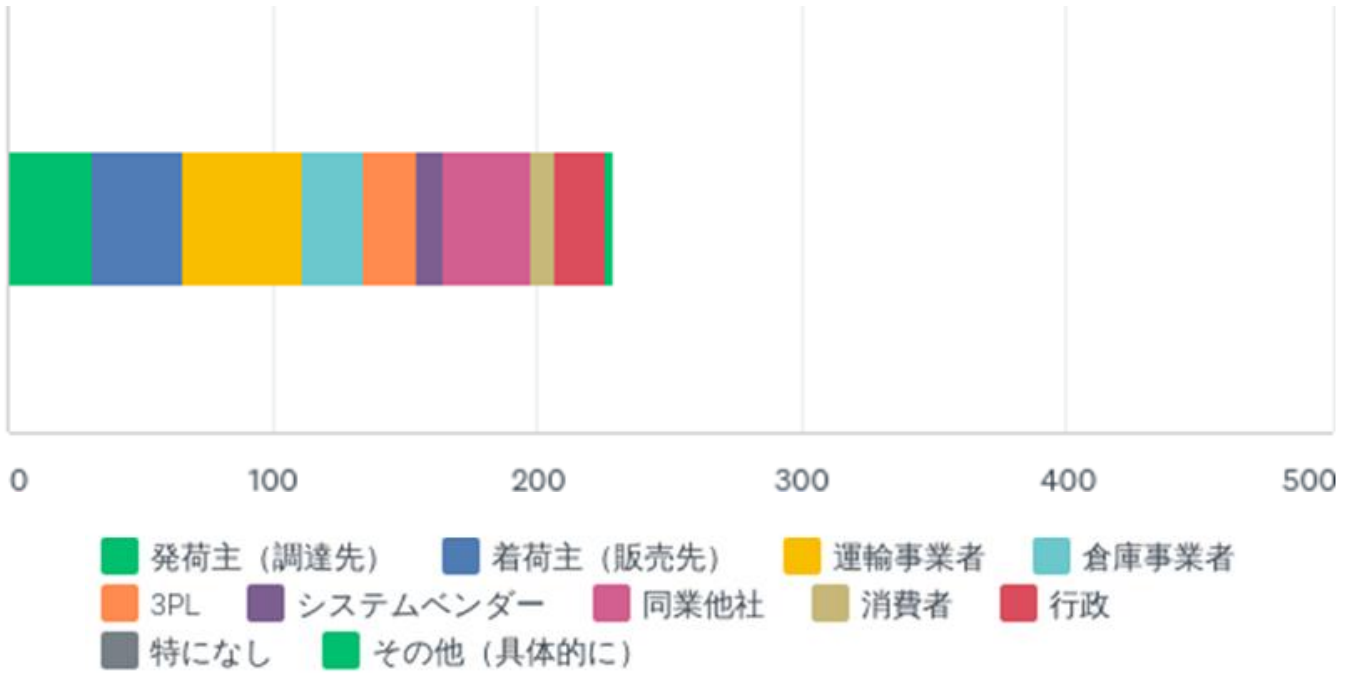
- エコドライブ
- 環境優良車の導入
- 拠点集約
- 輸送ルート・輸送手段の工夫
- 貨客混載の活用
- 帰り荷確保(帰り便活用)
- 共同輸配送
- モーダルシフト
- マッチングシステム
- バス予約システム
- 電子タグの活用
- 取引条件(ロット、リードタイム、JIT、頻度など)の見直し
- 標準化(パレット、情報システムなど)
- 一貫パレチゼーション
- 検品レス
- 機械化・自動化
- 待ち時間の削減
- 特になし
- その他(具体的に)

Q6: 本会議に参加されて、今後、どのようなテーマでのグリーン物流、並びに、物流の生産性向上に取り組みたいとお考えですか。次のなかから、選択してください（複数回答可）。

回答の選択肢	回答数	
エコドライブ	16.44%	12
環境優良車の導入	12.33%	9
拠点集約	21.92%	16
輸送ルート・輸送手段の工夫	57.53%	42
貨客混載の活用	12.33%	9
帰り荷確保（帰り便活用）	39.73%	29
共同輸配送	54.79%	40
モーダルシフト	54.79%	40
マッチングシステム	17.81%	13
バース予約システム	20.55%	15
電子タグの活用	21.92%	16
取引条件（ロット、リードタイム、JIT、頻度など）の見直し	21.92%	16
標準化（パレット、情報システムなど）	30.14%	22
一貫パレチゼーション	17.81%	13
検品レス	12.33%	9
機械化・自動化	21.92%	16
待ち時間の削減	32.88%	24
特になし	0.00%	0
その他（具体的に）	5.48%	4
回答数: 73		

Q7: 物流の生産性を向上させ、グリーン物流の推進につなげていくうえで、今後、誰とパートナーシップを組んで取り組みたいとお考えですか。次のなかから、選択してください（複数回答可）。

回答数：72

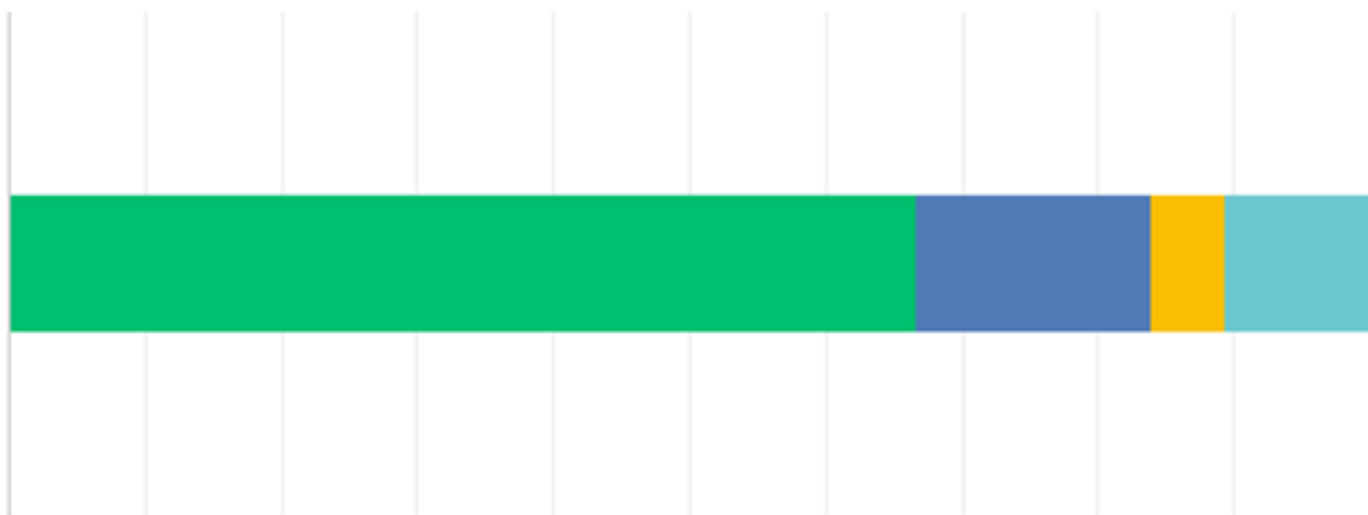


回答の選択肢	回答数	割合
発荷主 (調達先)	32	44.44%
着荷主 (販売先)	34	47.22%
運輸事業者	45	62.50%
倉庫事業者	24	33.33%
3PL	20	27.78%
システムベンダー	10	13.89%
同業他社	33	45.83%
消費者	9	12.50%
行政	19	26.39%
特になし	0	0.00%
その他 (具体的に)	3	4.17%
回答数: 72		



Q8: 今回の本会議は、何回目の参加ですか。次のなかから選択してください。

回答数：75

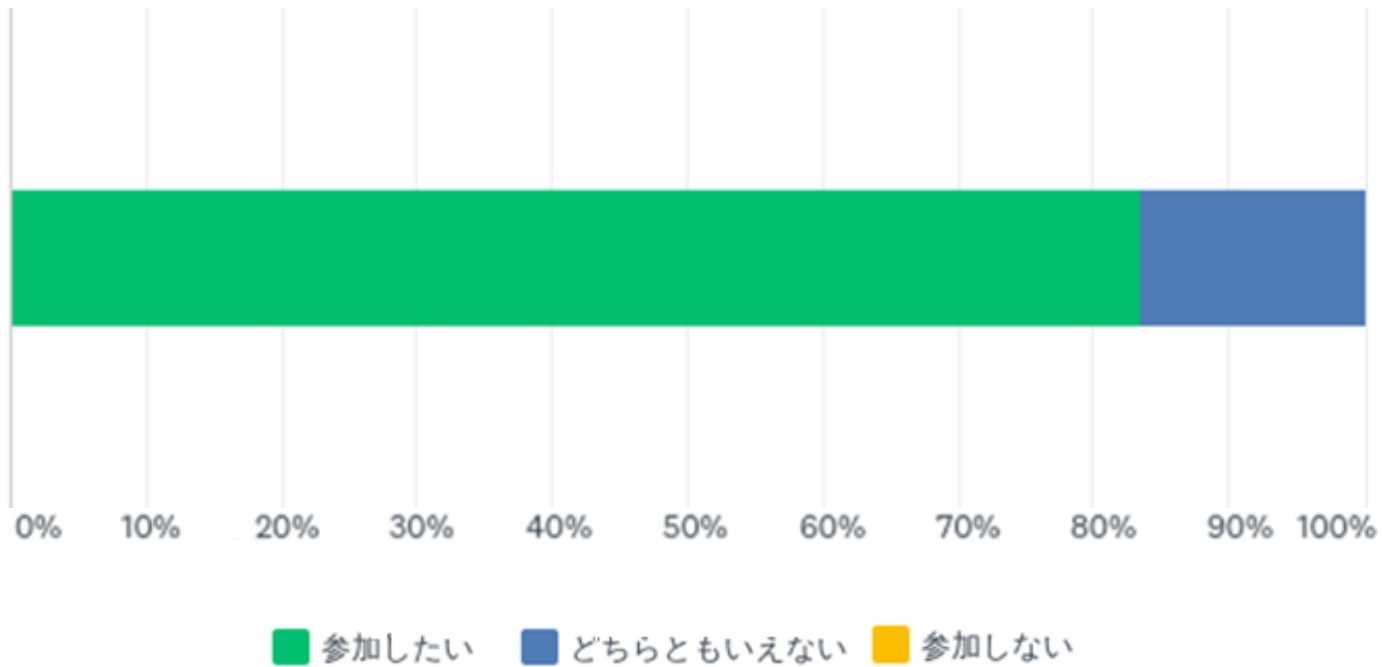


■ 1回目 ■ 2回目 ■ 3回目 ■ 4回目以上の参加

回答の選択肢	回答数
1回目	66.67% 50
2回目	17.33% 13
3回目	5.33% 4
4回目以上の参加の場合、具体的に何回目なのか、ご記入ください。	10.67% 8
合計	75

## Q9: 次年度以降も、本会議に参加したいですか。

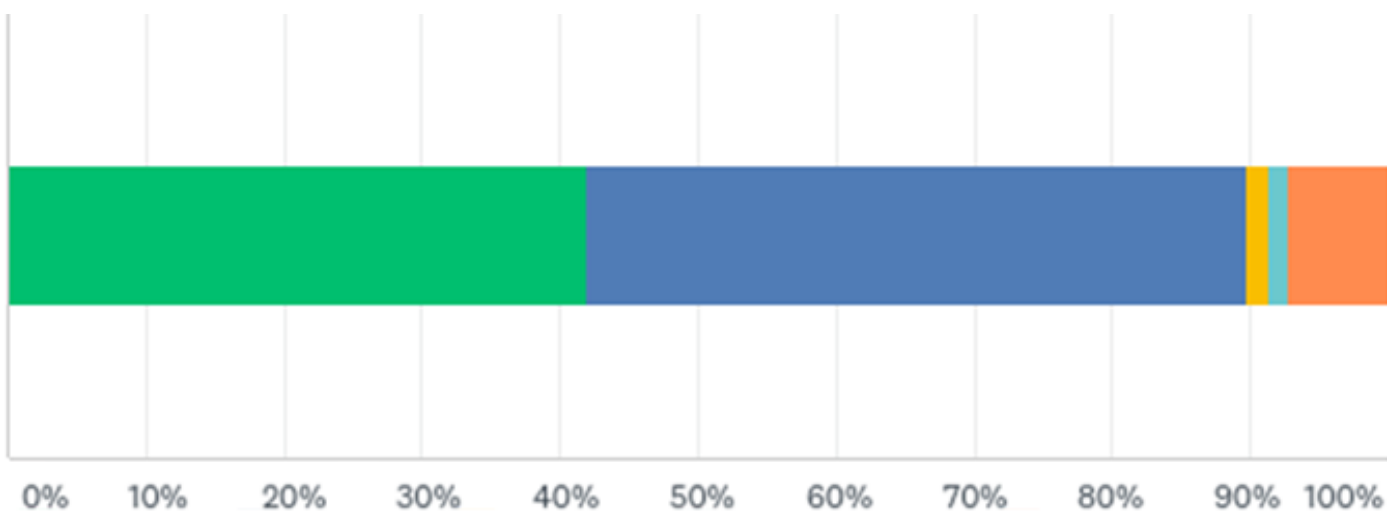
回答数：73



回答の選択肢	割合	回答数
参加したい	83.56%	61
どちらともいえない	16.44%	12
参加しない (理由も具体的にご記入ください)	0.00%	0
合計		73

# Q10: 本年度のグリーン物流パートナーシップ会議の表彰案件に応募しなかった理由は何ですか。次のなかから、選択してください。

回答数 : 69



- 知らなかった
- 応募できる案件がなかった
- 応募できる案件はあったが、社内の了解が得られなかった
- 応募できる案件はあったが、パートナーの了解が得られなかった
- その他(具体的に)

回答の選択肢	回答数
知らなかった	42.03% 29
応募できる案件がなかった	47.83% 33
応募できる案件はあったが、社内の了解が得られなかった	1.45% 1
応募できる案件はあったが、パートナーの了解が得られなかった	1.45% 1
その他(具体的に)	7.25% 5
合計	69